

2022 年 1 月 31 日

沖縄県がん診療連携協議会  
委員各位

琉球大学病院がんセンター  
増田昌人

今年度の本協議会の実績について

1. 第3次沖縄県がん対策推進計画の予防と検診以外の各分野について、ロジックモデルを用いて、進捗状況の把握や今後について検討を行った。
2. 北部、宮古および八重山医療圏から、中部および南部医療圏の放射線治療医療機関への紹介手順を確立した。
3. 県内医療機関から琉球大学病院（がんゲノム医療連携病院）へのがんゲノム遺伝子パネル検査の紹介手順を確立した（研修会を10回以上開催した）。県内医療機関から58件の紹介があった。
4. 県内医療機関から琉球大学病院への妊孕性温存療法の紹介手順を確立した（研修会を複数回開催した）。既に、県内医療機関からの紹介を受けている。
5. 県内医療機関の緩和ケア病棟のベッド占有率等の情報を毎週更新して当協議会ホームページ上で公開している。
6. 「大腸がん死激減プロジェクト」において、大腸がん相談室を開設し、運用が開始された。
7. 本協議会小児・AYA 部会妊孕性温存 WG の組織を使うことにより厚生労働省「小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」における国と自治体による、公的助成制度の適応が得られる見込み。（本日協議事項）
8. 北部、宮古および八重山医療圏における各がん種に対する治療の現状について、当協議会ホームページ上での公開が行われる見込み。（本日協議事項）

## 参考

### 第3次沖縄県がん対策推進計画（2018-2023）に対する対応

#### 第2章 分野別施策と個別目標

##### 2 患者本位のがん医療の実現

- (1) がん医療と人材育成・・・・・・・・・・③、⑥
- (2) 医療提供体制・・・・・・・・・・①、②、③、⑧
- (3) 在宅医療・・・・・・・・・・①
- (4) 緩和ケア・・・・・・・・・・⑤
- (5) ライフステージに応じたがん対策・・①、④、⑦
- (6) それぞれのがんの特性に応じた対策・①
- (7) 離島及びへき地対策・・・・・・・・①、②、⑧

##### 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

- (1) 相談支援と情報提供・・・・・・・・①
- (2) がん患者等の就労を含めた社会的な問題（サバイバーシップ支援）
- (3) がんの教育・普及啓発

#### 第3章 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1 がん登録・・・・・・・・・・①
- 2 計画の進捗管理体制・・・・・・・・①

\*各項目の後ろにある番号は、前ページの番号